

バイオエンジニアリング研究会 テクニカルセミナー5

「次世代製剤技術・投与デバイスを活用した医薬品開発の将来展望」

日時：2025年1月15日（水）14:00～16:30【MS-Teamsオンライン】

オーガナイザー・座長：今野由信氏（協和キリン株式会社 生産本部 CMC）開発部
ストラテジー&ケイパビリティマネジメントグループマネージャー）

14:00～14:10 はじめに 今野由信氏（協和キリン株式会社）

14:10～14:50（講演30分 質疑応答10分）

次世代製剤技術・投与デバイスを活用した医薬品開発の将来展望（仮）

番場 聖氏（株式会社BBブリッジ 代表取締役）

医療現場に続々と登場する新規投与デバイス・新規製剤技術について、「2025年版 次世代製剤技術・投与デバイスを活用した医薬品開発の将来展望（技術・市場調査レポート）」をもとにポイントをご紹介いただく。初回上市時から患者様の視点にたったバイオ医薬が増えてきた感があるが、バイオ医薬のプロセスとデバイスに焦点をあて、変化の傾向について総合的な解析を行いたい。

14:50～15:30（講演30分 質疑応答10分）

電動式インジェクターの可能性と将来展望

瀬戸 晃平様（PHC株式会社）

市場環境や意識、行動の変化により、院内投与から自宅投与への変遷が加速、電動式インジェクターへの使用期待が年々高まってきている。本講演では当社が製造する電動式インジェクターの製品開発における取り組みと、電動式インジェクターの特徴、また非電動式インジェクターとの違いなどについて述べ、電動式インジェクターの可能性と将来展望について考察する。

15:30～16:10（講演30分 質疑応答10分）

少量で免疫が期待できる「ワクチン皮内投与デバイス」（仮）

伊純 明寛氏（株式会社ライトニックス技術企画部 部長 / 薬事（QMS 国内品質業務運営責任者））

簡便で安価な皮内投与デバイスにより、ワクチン投与量や副反応を軽減し、幅広い感染症予防を実現する。特にパンデミック時のワクチン供給を可能にし、コスト削減により途上国を含む世界的な接種率向上を目指す。またより効率的な免疫獲得と自己投与を可能にすることで、安全かつ広範なワクチン普及の促進を目指す。

16:10～16:30 総合討論 座長：今野由信氏（協和キリン株式会社）

